

幸運なんです。
雲南です。

ダイジェスト改訂版

夢

発見プログラム

雲南市キャリア教育推進プログラム
＜保幼小中の一貫したプログラム＞



雲南市教育委員会
雲南市健康福祉部



雲南市キャリア教育

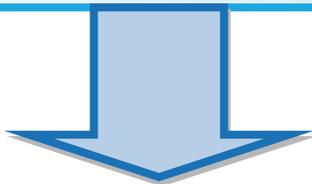
平成23年に中央教育審議会は、「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)」において、キャリア教育を『一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる意欲・態度や能力を育てることを通して、キャリア発達を促す教育』と定義しました。



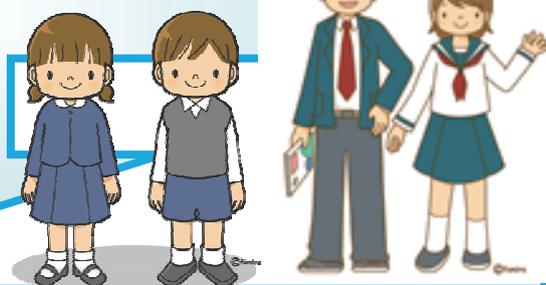
この答申では、キャリア教育の基本的な方向性として、

- 幼児期の教育から高等教育までの発達の段階に応じ体系的に実施
- 様々な教育活動を通じ、基礎的・汎用的能力を中心に育成

の2点が特徴としてあげられました。この中で注目すべきことは、『幼児期の教育から高等教育まで体系的に』ということと『キャリア教育で育成すべき力が「4領域8能力」から「基礎的・汎用的能力」へ』と変わったことです。



雲南市では、キャリア教育を≪将来社会的に自立して強く生きぬくために必要な意欲・態度や能力を身につけることをねらいとして行われる教育活動の総体ととらえ、乳幼児・児童生徒の「知・徳・体」の調和のとれた発達を促す教育≫と考えます。



この考えのもとで、雲南市では、キャリア教育を職業観の育成のみの教育という考えではなく、雲南市教育の中心的理念ととらえ、雲南市教育の全体像として位置づけます。

雲南市の子どもの現状と課題

大人のかかわり

平成24年度 雲南市小中学校生活実態調査から
平成22年度 雲南市幼稚園・保育所アンケートから

自己肯定感 の育成

人間関係形成 社会形成能力 の育成

乳幼児期からの 基礎体力の向上

- ・生活実態調査の質問項目「自分には良いところがあると思う」に対して、肯定的な回答が少なかった。
(自己肯定感が低い)
- ・生活実態調査の自尊感情にかかわる得点が学年を追うにしたがって低くなり、県調査結果よりも低い。**(自尊感情が低い)**

抱きしめる

微笑みかける

諭す

自信がもてるよう
後押しをする

大人から積極的に
明るい挨拶をする

褒める
(返事・お手伝いなど)

- ・よりよい人間関係を保ちながら集団生活を送る力が弱い。
(集団に関わりにくい)
- ・人の話を聞くことや自分の気持ちを言葉で人に伝える力等に課題がある。**(聞く力、伝える力が弱い)**
- ・生活実態調査の質問項目「毎日何となく疲れている」に対して、「とてもあてはまる」「すこしあてはまる」がすべての学年で60%を越えている。
(日々、何となく疲れている)
- ・生活実態調査で、「相談できる人がいない」と答えた児童生徒が90名いた。経年変化をみると、友達を選択する生徒が減少した。
(相談できる人がいない)

子どもの訴えにしっかり
心をかたむけて聴く

家族そろって生活リズムを整える

- ・自然の中でダイナミックに遊んだ経験や直接体験が少ない。
(自然体験不足)
- ・持久力や指先の力、脚力、バランス感覚などの基礎的な体力に弱さが見られる。**(基礎的体力が身につけていない)**
- ・食事内容については、主食のみの児童生徒が多く、栄養のバランスの面で課題が多い。一方、乳幼児期における食事のマナーなどにもかなりの課題がある。
(食習慣の課題)

自然の中で子どもといっしょに遊ぶ

子どもとともに
体力づくりにつとめる

心のこもった手作りの食事で
家族団欒を楽しむ

雲南市キャリア教育全体構想

No.1

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 社会教育法
- 学習指導要領
- 幼稚園教育要領
- 保育所保育指針
- しまね教育ビジョン21

雲南市教育基本目標

雲南市教育具体目標

ふるさとを愛し 心豊かでたくましく
未来を切り拓く 雲南市の人づくり

- 夢に向かって生き生きと学び、知恵と創造性に富む人づくり
- 人・もの・こととの出会いによる人間性豊かな人づくり
- 健やかな体でたくましく生きる人づくり
- 自然・伝統・文化を基盤として、社会の変化に対応して生き抜く力のある人づくり

雲南市がめざす子ども像

知恵と勇気と誇りをもったたくましい雲南の子ども

雲南市キャリア教育目標

ふるさと雲南への誇りと将来への夢や希望をもち
すんで社会貢献していこうとする 心豊かでたくましい子どもの育成
～保幼小中一貫で、社会を力強く生き抜く力を育むために～

雲南市乳幼児・児童・生徒の実態
地域社会・保護者・教師の願い

キャリア教育で育成すべき力

基礎的・汎用的能力

人間関係形成・社会形成能力

自己理解・自己管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

就学前におけるキャリア発達課題

- 人との出会い、かかわりによる社会性
- 身のまわりの事象に対する興味関心
- 自信や自尊心の芽生え
- 仲間同士の信頼関係・共感性の芽生え

小学校におけるキャリア発達課題

- 自己及び他者への積極的関心の形成・発展
- 身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上
- 夢や希望、憧れる自己イメージの獲得
- 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成

中学校におけるキャリア発達課題

- 肯定的自己理解と自己有用感の獲得
- 興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成
- 進路計画の立案と暫定的選択
- 生き方や進路に関する現実的探索

高等学校におけるキャリア発達課題

- 自己理解の深化と自己受容
- 選択基準としての職業観・勤労観の確立
- 将来設計の立案と社会的移行の準備
- 進路の現実興味と試行的参加

雲南市の子どもの課題

自己肯定感の育成

人間関係形成・社会形成能力の育成

乳幼児期からの基礎的体力の向上

雲南市「夢」発見プログラム

児童生徒期

諸活動

清掃、給食当番、係活動、学級朝終礼
放課後活動、部活動

教科の学習

国語、社会、算数・数学、理科、生活、音楽、図画工作・美術、家庭、技術・家庭、体育・保健体育、外国語、

外国語活動

道徳の時間

自分自身
他の人とのかかわり
自然や崇高なものとのかかわり
集団や社会とのかかわり

生活科・総合的な学習の時間

国際理解、環境、健康、福祉、
生き方・進路、地域社会、
コミュニケーション等

共通題材

特別活動

学級活動、児童会活動、生徒会活動、クラブ活動、学校行事

乳幼児期

健康

人間関係

環境

言葉

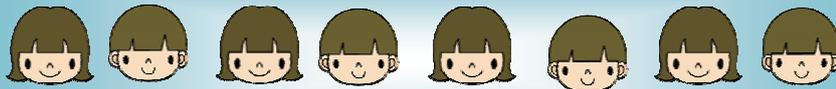
表現

生命の保持

情緒の安定

共通題材

家庭・地域社会・行政



雲南市がめざす子ども像

雲南市キャリア教育の重点目標

家族の温かさを基盤として、いろいろな人とのかわりを通して、生命の尊さを感じたり、他者への共感性や自分を大切にしたりしようとする態度を育む。
 「生きること」の尊さを実感させることを通して、他者の個性を尊重し、自己理解を深め、夢や希望をもって将来の生き方を考えていこうとする態度を育てる。

集団生活を通して、人と一緒に生活するために必要な態度や様々な力を身につけるとともに、積極的に行動しようとする意欲を育む。
 自然体験や社会体験を通して、社会の一員としての自己の存在を理解し、社会での職業や学校での学習に積極的に関わろうとする意欲・態度を育てる。

地域の自然の中で遊んだり、地域に伝わる伝承文化などにふれたりすることを通して、体験を豊かにするとともに、それを大切にしようとする気持ちを育む。
 雲南の自然にふれたり、文化を学んだりすることを通して、ふるさとに誇りを持ち、人のため、社会のために役立つ生き方を考えようとする態度を育てる。

多様な遊びを通して、体の諸機能の発達を促し、しなやかな心と身体をつくるとともに基本的な生活習慣や生活リズムを確立し、食に対する興味関心を育む。
 自分の生活を自己管理することの大切さや「食」「運動」に関する理解を深め、実践することを通して、自立して生きていくことができる基礎的な力を培う。

雲南市キャリア教育推進プログラム重点内容



教科等の学習

道徳の時間

特別活動

総合的な学習の時間

諸活動

家庭・地域社会・行政・企業との連携・協働

基本理念 ○雲南市の豊富な教育資源・価値ある素材（人・もの・こと）の活用 ○保幼小中の取組の系統性
 ○全教育活動を通して実践する。 ○共通題材と各教科等との関連の整理

	乳幼児期に育てたい力	小（低）	小（中）	
人間関係形成 社会形成能力 ☆他者の個性を理解する力 ☆他者に働きかける力 ☆コミュニケーション・スキル ☆チームワーク ☆リーダーシップ	観点1(集団の一員としての意識をもち、生活を営む力) ・場面に応じて自分からあいさつをしたり、応えたりする。 観点6(人とコミュニケーションをとる力) ・いろいろな人と出会い、かわりをもつ。 観点9(友達とともに活動する力) ・相手(友達)の立場に立って共感したり、考えたり、思いやったりする。	・あいさつや返事を明るく元気よくする。 ・友達と仲良く遊び、助け合う。 ・「ありがとう」や「ごめんね」を言う。 ・お世話になった人等に感謝し、親切にする。 ・身近で働く人々の様子がわかり、興味関心をもつ。	・あいさつや返事を大きな声ではきはきとする。 ・友達と協力して学習や活動に取り組む。 ・自分の生活を支えている人に感謝する。 ・相手の気持ちや考えを理解しようとする。 ・友達の良いところを認め、励まし合う。	・あいさつと返事を思いやりのこらえて考え、話し合いなど異なる意見・相手の話し合いで引き出す。 ・異年齢集団と責任を
自己理解 自己管理能力 ☆自己の役割の理解 ☆前向きに考える力 ☆自己の動機付け ☆忍耐力 ☆自己抑制 ☆主体的行動・自己表出 ☆ストレスマネジメント	観点5(自分のよさに気づき、自分に自信をもつ) ・自分でできることは自分でやろうとする。 観点7(自分を豊かに表現する力) ・自分の気持ちを言葉を使って表現する。 観点8(いろいろな運動を楽しむ力) ・遊びの中でいろいろな動きを経験する。 観点9(自分の行動をコントロールする力) ・順番を守ろうとしたり、待たたりする。 観点2(命に感謝し、楽しく食べる力) ・楽しく感謝しながら何でもよく食べる。	・自分の好きなもの、大切なものをもつ。 ・自分の考えをみんなの前で話す。 ・自分のことは自分でやる。 ・決められた時間やきまりを守ろうとする。 ・学校でしてよいことと悪いことがあることが分かる。 ・周りの状況に応じてわがままをおさえ、我慢することが出来る。 ・状況に応じて気持ちをきりかえることができる。	・自分のよいところをみつける。 ・自分の意見や気持ちをわかりやすく表現する。 ・自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり通そうとする。 ・自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んで取り組む。 ・してはいけないことが分かり、自制する。 ・状況に応じて、社会のルールに則って自らの発言や行動を適切に律する。	・自分の長所を発揮する。 ・自分の意見相手に理解 ・教師や保護者 ・話し ・自分の役割 ・指示を持つ ・見つけて積
課題対応能力 ☆情報の理解・選択・処理等 ☆本質の理解 ☆原因の追究 ☆課題発見 ☆計画立案 ☆実行力 ☆評価・改善	観点4(「人・自然・もの・こと」とかかわろうとする力) ・自然の中で体を使って思い切り遊ぶ。 観点8(自分の行動をコントロールする力) ・場面に応じて自分の気持ちを抑えたり、葛藤を経験したりする。 観点9(友達とともに活動する力) ・相手(友達)の立場に立って共感したり、考えたり、思いやったりする。	・係や当番の活動、家の手伝いなどの役割の大切さに気付く。 ・係活動などで自分のやりたい係、やれそうな係を選ぶ。	・係や当番活動、家の手伝いなどにおいて、役割分担の必要性が分かり、実行する。 ・計画づくりの必要性に気づき、作業の手順が分かる。 ・係や当番活動などに積極的にかかわる。 ・自分の力で課題を解決しようとする。 ・分からないことを図鑑などで調べたり質問したりする。 ・常に好奇心をもち、すすんで知識を得ようとする。	・生活や学習 ・解決しよう ・学んだり ・の関連性を ・課題解決に ・めたことを ・学校生活に ・極的に取り
キャリアプラン ニング能力 ☆学ぶこと・働くことの意義や役割の理解 ☆多様性の理解 ☆将来設計、選択 ☆行動と改善等	観点6(人とコミュニケーションをとる力) ・友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見出し、工夫したり、協力したりする。 観点8(自分の行動をコントロールする力) ・生活や遊びの中で、ルールがあることに気づき、それを大切にしようとする。 観点9(友達とともに活動する力) ・一つの目的を共有し、友達と協同して実現していく。	・係りや当番活動などの大切さがわかり、すすんで取り組む。 ・身近で働く人々の様子がわかり、興味関心をもつことができる。	・係りや当番、委員会活動を通し、働くことの楽しさが分かる。 ・自分の係りや当番の仕事に対して責任を感じ、最後までやり通すことができる。 ・いろいろな職業や生き方があることが分かる。 ・将来の夢や希望をもつ。 ・将来に対する漠然とした夢やあこがれを抱く。	・身近な産業 ・分かる。 ・日常生活 ・がっている。 ・社会生活に ・その関連性 ・施設、職場 ・や苦労が分 ・働くとする ・ないことを考 ・将来のことを ・将来の夢や ・しようとする
	・しっかり抱く。 ・微笑みかける。 ・愛のある声がけをたくさんする。 ・目をみづめておっぱいを飲ませる。 ・しっかり褒める。 ・行動を認める。 ・善悪の判断をしっかりつける。 「ごあいさつしようね。」 「それは危ないよ。」 「それは熱いよ。」 「手を洗おうね。」 「自分でやってみようね。」 「すこいね。」 「お片付けしようね。」 ・しつけ(善悪の判断) ・危険察知能力の確立 ・挨拶習慣の確立 ・挨拶の習慣づけ ・家族の団樂	・家族みんなで小学校入学を祝う。 ・子どもの訴えに心から共感する。 ・しっかり褒め、しっかり諭す。 ・善悪の判断をきちんと教える。 「入学おめでとう。」「大きくなったね。」 「よく我慢したね。」 「学校のこと教えて。」「そう、すこいね。」 「やったね。」「いつも応援しているよ。」 ・学習準備の習慣づけ ・家庭学習(宿題)の習慣づけ ・早寝早起きの習慣づけ ・挨拶の習慣づけ・なんでも話し合える家族 ・家庭の中における子どもの役割や仕事を教える	・しっかり褒め、しっかり諭す。 ・善悪の判断をきちんと教える。 ・子どもの訴えに心から共感する。 ・周りの状況を見て我慢できたら褒める。 ・やろうとすることにに対して温かい後押しをする。 「思い切ってやってみたら。」 「いつでも応援するよ。」 「あなたが大切だから言うんだよ。」 「よく我慢できたね。」「よくやっているね。」 「そうか……。悲しかったんだね。」	・しっかり褒め、 ・自立へ向け ・子どもの個性 ・親より友達 ・友達関係を ・小学校卒業 ・かけをし、大 ・送る。 「あせらないよ。」 「すこいね。」 「大きくなって 「あなたは、 「大丈夫、や
家庭	・食を通して愛情を伝える。 ・食事習慣やマナーを教える。 ・好き嫌いをなく何でも食べるよう促す。 ・食事作りの手伝いに少しずつ参加させる。(箸やお皿の準備など) ・手づくりの食事をかこんで楽しく団樂できる雰囲気づくりをする。	・家族そろって食事をする時間を大切に する。 ・お米をとぐなど、食事の準備に参加するよう促す。 ・安全に留意しながら包丁が扱えるよう促す。 ・手づくりの食事をかこんで楽しく団樂できる雰囲気づくりをする。	・子どもが自分の力でみそ汁やおかずを何品か作ることができるように、共に台所に立ちながら支援する。 ・手づくりの食事をかこんで楽しく団樂できる雰囲気づくりをする。	・自分一人で ・んとできるよ ・所に立つ。 ・手づくりの食 ・雰囲気づく
食	・子どもがメディアに頼らないで、本物体験をするように心がける。 ・何かをする時(例えば食事など)は、家族みんなでテレビやゲームはスイッチオフにする。	・メディア接触を少なくするよう家族みんなで協力する。 (家族でノーメディアデーの実施)	・子ども自身が自分で時間を決め、メディアとの接触を律するよう家族みんなで協力する。 (家族でノーメディアデーの実施)	・情報モラル ・子どもが納 ・事を決める (家族でノー
メディア	・遊びの中の運動促進 ・自然の中で体をいっぱい動かして子どもと共に遊ぶ。 ・早寝早起きの習慣づけ ・基本的な生活習慣づけ (歯磨き、顔洗いを共にやる。)	・遊びおよびチームで行う運動の促進 ・自然の中で親子で体験活動をする。 (山登り、キャンプ等) ・早寝早起きの習慣づけ ・基本的な生活習慣づけ (自分でできるよう促す。)	・集団競技への興味関心の増進と実践の促進 ・親子で体づくりをする時間を大切に する。 ・早寝早起きの習慣づけ ・基本的な生活習慣づけ (自分の力でできるよう支援する。)	・自ら自己体 ・確保 ・スポ少等 ・する。 ・家族みんな ・心がける。 ・夜更かしな
生活リズム と 体づくり	・地域の大人から心温かい挨拶をする。 「おはよう。」「こんにちは。」「いってらっしゃい。」「おかえりなさい。」「すこいね。」「よくやったね。」「そのことはいけなことだよ。」「それは危ないよ。」 ・地域みんなで取り組む「ふるまい向上運動」 ・地域行事への参加要請および受け入れ体制づくり(運動会・文化祭) ・地域の伝統芸能の伝承(神楽・太鼓など) ・地域の時間および総合的な学習の講師としての協力 ・通学合宿、キャンプなどの企画運営、参加要請 ・通学見守り隊の活性化 ・雲南地域子ども安全センターの活性化 ・スポーツ推進委員によるスポーツの提供 ・地域自主組織の活性化(社会教育CNとの連携による「地域の教育力」を生かす機会の提供) ・地域教育協議会の活性化(教育支援CNとの連携による中学校校区ごとのめざす子ども像づくりと、協力体制の構築) ・少年期・青年期のスポーツ活動の推進(スポーツ少年団への協力) ・放課後子ども教室への協力	・地域の大人が積極的に子どもを褒める、認める、諭す。 「きちんと守れたね。」 「危ないよ。」「それはやめようね。」 ・地域みんなで取り組む「ふるまい向上運動」 ・乳幼児期からの運動促進へのかわり	・地域みんなで取り組む「ふるまい向上運動」 ・地域行事への参加要請および受け入れ体制づくり(運動会・文化祭) ・地域の伝統芸能の伝承(神楽・太鼓など) ・地域の時間および総合的な学習の講師としての協力 ・通学合宿、キャンプなどの企画運営、参加要請 ・通学見守り隊の活性化 ・雲南地域子ども安全センターの活性化 ・スポーツ推進委員によるスポーツの提供 ・地域自主組織の活性化(社会教育CNとの連携による「地域の教育力」を生かす機会の提供) ・地域教育協議会の活性化(教育支援CNとの連携による中学校校区ごとのめざす子ども像づくりと、協力体制の構築) ・少年期・青年期のスポーツ活動の推進(スポーツ少年団への協力) ・放課後子ども教室への協力	・地域みんなで取り組む「ふるまい向上運動」 ・地域行事への参加要請および受け入れ体制づくり(運動会・文化祭) ・地域の伝統芸能の伝承(神楽・太鼓など) ・地域の時間および総合的な学習の講師としての協力 ・通学合宿、キャンプなどの企画運営、参加要請 ・通学見守り隊の活性化 ・雲南地域子ども安全センターの活性化 ・スポーツ推進委員によるスポーツの提供 ・地域自主組織の活性化(社会教育CNとの連携による「地域の教育力」を生かす機会の提供) ・地域教育協議会の活性化(教育支援CNとの連携による中学校校区ごとのめざす子ども像づくりと、協力体制の構築) ・少年期・青年期のスポーツ活動の推進(スポーツ少年団への協力) ・放課後子ども教室への協力
地域				

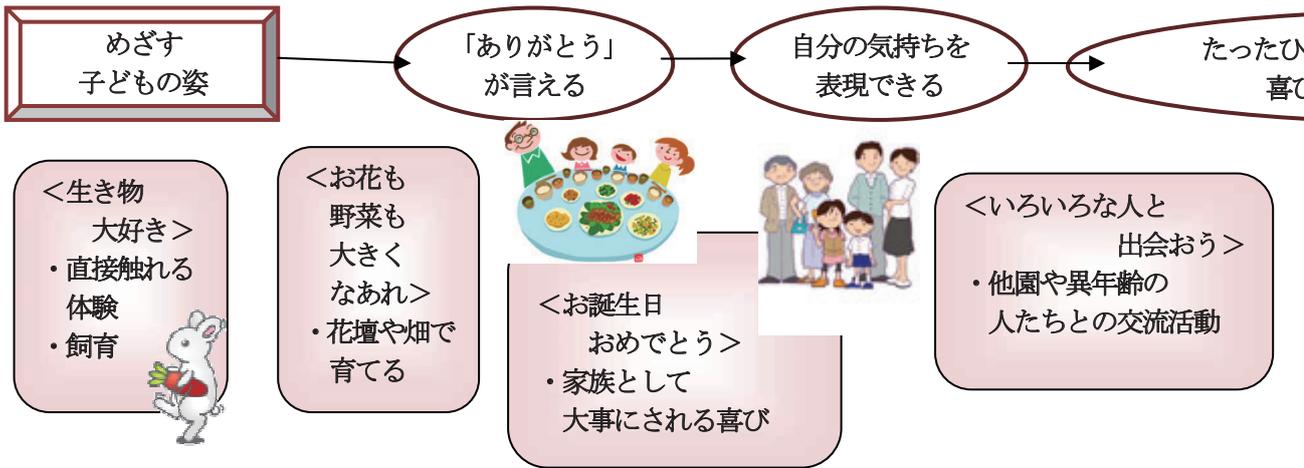
かわり 大人からの言葉かけ(例)・・・各家庭で具体的な肉付けをしながら声かけをする。

小 (高)	中 (1)	中 (2)	中 (3)
<p>返事をその場に応じてする。気持ちもち、相手の立場に行動しようとする。</p> <p>に積極的に参加し、自分とも理解しようとする。しやすい環境をつくり、適切な質問するなど相手の意見をの活動に進んで参加し、役果たそうとする。</p>	<p>・相手と場に応じたあいさつや返事をする。 ・自分のルールややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重し理解する。</p> <p>・積極的に他の人とかかわる。 ・思いやりをもった話し方を心がける。 ・他の人の個性を知る。 ・自己と他者の違いに気づき、尊重しようとする。</p>	<p>・相手と場に応じた挨拶や返事を適切にする。 ・自分らしさを生かしながら他者へのかかわりの中で協同性、協力を学ぶ。</p> <p>・自分の言動が他者に及ぼす影響について理解する。 ・チームで仕事をするとき、自分がどのような役割を果たすべきかを理解する。 ・他の人の個性を理解する。</p>	<p>・相手と場に応じたあいさつや返事を積極的にする。 ・自他の個性を尊重しながらコミュニケーションを大切に丁寧な人間関係を築く。</p> <p>・「やろよじやないか」と呼びかけ、目的に向かって周囲の人々を動かしていく。 ・自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に進める。</p>
<p>や欠点に気づき、自分らしさををわかりやすく整理した上で、してもらうように的確に伝える。</p> <p>者などに自分の悩みや葛藤をを責任をもってきちんと果たす。のではなく、自らやるべきことを積極的に取り組む。</p>	<p>・自分の良さや個性が分かり、自分を好きになる。 ・自分の考えをまとめ、自信をもって相手に伝える。</p> <p>・やりがいをもって取り組もうとする。 ・様々な場面で自ら考え、自分の意思をもって決定していく力をつける。 ・ストレスを感じることがあっても、成長の機会だとポジティブに捉えて肩の力を抜いて対応する。</p>	<p>・自分の個性を伸ばす。 ・「やればできる」という自信をもち、行動に生かす。 ・自分の考えを周囲の状況を考えながらまとめ、的確に伝える。</p> <p>・他からのアドバイスをすすんでもらい、自分の行動に生かす。 ・学校、社会ですすんで自分の力を生かそうとする。 ・社会の中で自分が果たしていくべき役割について築き、自己の力を向上させていくこととする。</p>	<p>・学校、社会の中で自分の力を積極的に生かす。 ・さまざまな体験をとおして自己有用感をもつ。 ・自分の考えを的確に伝えることによって自己の存在に自信をもつ。</p> <p>・目標に向け、自らすすんで努力する。 ・社会の中で自分が果たしていくべき役割について認識を深め、自己実現に結びつけようとする。 ・言われたことをやるだけでなく自ら目標を設定し、失敗を恐れず行動に移し、粘り強く取り組む。</p>
<p>上の課題を見つけ、自分の力でを。換したりしたことと生活や職業とを。必要な情報を拾取選択し、まとを。おいて必要な係を考え出し、積</p>	<p>・集団の一員としての役割を理解し、それを果たそうとする。 ・学習をする上でのさまざまな課題を発見、分析し、計画を立てて実行しようとする。 ・目標に向けて、自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提起する。</p>	<p>・自らの課題を見つけ、様々な場面で計画性をもち、課題を克服しながら学習や生活に前向きに取り組む。 ・社会の一員としての自覚をもつために、社会や大人を客観的にとらえる。 ・課題の解決に向けた複数のプロセスを明確にし、「その中で最善のものは何か」を検討し、それに向けた準備をする。</p>	<p>・将来に向けての生き方を考え、直面する課題解決に進んで取り組む。 ・社会の一員として生き抜くためには、義務と責任が伴うことを理解する。 ・既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考える。</p>
<p>、職業の様子や、その変化がや学習が将来の生き方につながるに気づく。いろいろな役割があることや大切さが分かる。見学等を通して、働くことの大切さを。職業をもち、今、しなければなら。と考える大切さが分かる。希望をもち、実現をめざして努力</p>	<p>・先輩や地域の人から積極的に学び、学ぶことの意義を知る。 ・学校や社会の中で必要となる様々な役割を知る。 ・様々な場面で自分が果たすべき役割を理解する。 ・いろいろなことに積極的にチャレンジしながら、学校や社会で生きていく中で、生きていく中には多くの選択肢があることを理解する。</p>	<p>・自分自身の興味・関心から自己の将来設計を描く。 ・将来の夢を達成する上での現実の問題に直面し、最良のプロセスを見出す。</p>	<p>・自らの適性を理解し、進路について主体的に判断し進路決定できる。 ・事業所訪問等から、職業を正しく理解し、自己の生き方を考える。 ・目標とすべき将来の生き方や進路を考え、その実現をめざした進路選択を行う。 ・学校生活や職場体験によって学んだことを社会生活と結びつけ、自己の生き方につなげる。 ・将来設計を達成するための困難を理解し、それを克服するための努力をする。</p>
<p>、励まし、後押しをする。での促しをする。外に耳と心を傾ける。を選ぶことを認め、よりよい支援する。へ向けて心から祝福の言葉人になることへのエールを</p> <p>でゆっくりやれば大丈夫だよ。」「自分はどう思う。」「考えがしっかりしてきたね。」「のようにしたいんだね。」ってごらん。」</p> <p>の確立 あいさつや言動 の確立 と雰囲気づくり 人と対等に話し合いができる 気づくり</p>	<p>・中学校入学に対する祝福と、大人になった喜びを伝える。 ・子どもと適度な距離をつくりながらしっかり見守る。 ・子どもの意見を尊重する。 ・困ったときは、しっかり思いを聴いてから一緒に考える姿勢で相談にのる。</p> <p>「まず自分で考えてごらん。」 「あなたの考えはどうなの。」 「あなたがいてくれてよかった。」 「頼りにしているよ。」</p> <p>・生活リズムの確立 (自立起床、自分で準備、片付け) ・家庭学習習慣の確立(自主学習を支援) ・相手と場に応じた礼儀正しい言葉づかい ・家族団樂の中、子どもを大人として認め、頼りにするような雰囲気づくり</p>	<p>・手放しつつもしっかり見守る。 ・思春期の心の変化を敏感にキャッチする。 ・何事へも挑戦する子どもへの温かい後押しと支援をする。</p> <p>「信じているからしっかりやってごらん。」 「大丈夫だよ。」「応援するよ。」 「すごいね。」「自分で考えてみよう。」 「あなたが信じているからね。」 「こまめには相談してね。」</p> <p>・家庭学習習慣の確立 (進路について話し合い、目標を設定する。) ・相手と場に応じた礼儀正しい生活習慣と他への積極的なかかわり ・家族団樂の中で子どもを大人として対等に扱い、頼りにする。</p>	<p>・高校進学および社会進出への心強い後押しをする。 ・思春期の心の変化を敏感にキャッチする。 ・挑戦したいことに対して家族みんなで協力しようとする。</p> <p>「協力してやってみよう。」 「思い切ってやってごらん。」 「大丈夫だよ。」「すごいね。」 「挑戦する姿はたのしいよ。」 「大人っぽくなってうれしいよ。」</p> <p>・将来に向かって自己学習できる時間と場の確保と雰囲気づくり (進路目標に向かっての学習や社会貢献への意欲づけ) ・自信をもって積極的に他者とかかわったり、挑戦しようとする雰囲気づくり ・大人になって社会に出ることを家族みんなで喜び合える雰囲気づくり</p>
<p>弁当をつくらしたり、片付けがきちに、声かけをしながら共に台</p> <p>事をかこんで楽しく団樂できるをする。</p>	<p>・自分一人で弁当づくりなどをし、積極的に台所に立つことができるように思い切ってまかせろ。 ・子どもと楽しく話しながら家族の食事づくりをする。 ・手づくりの食事をかこんで楽しく団樂できる雰囲気づくりをする。 ・体力づくりの基礎となるバランスのとれた食事に配慮する。</p>	<p>・自分一人で弁当づくりをし、積極的に台所に立つ。 ・家族の一員として、家族の食事を作る。 ・手づくりの食事をかこんで楽しく団樂できる雰囲気づくりをする。 ・体力づくりの基礎となるバランスのとれた食事に配慮する。</p>	<p>・自分一人で弁当づくりをし、積極的に台所に立つことができるよう適度な距離間で見守る。 ・家族の一員として、家族の食事を工夫して作るよう見守る。 ・手づくりの食事をかこんで楽しく団樂できる雰囲気づくりをする。 ・体力づくりの基礎となるバランスのとれた食事に配慮する。</p>
<p>について家族で話し合いをもち、得て実行できるように、約束。メディアデーの実施)</p> <p>力を高めるための場と時間の体力をつくることへの協力をで規則正しい生活習慣づくりによいよう家族で協力する。</p>	<p>・メディアリテラシーを身に付け、情報の取捨選択が正しくできるよう家族として協力しながら見守る。</p> <p>・生活リズムの確立 (自分のことは自分で計画・実践)</p>	<p>・メディアリテラシーを身に付け、情報の取捨選択が正しくできるよう家族として協力しながら見守る。</p> <p>・生活リズムの確立 (自分のことは自分で計画・実践)</p>	<p>・メディアリテラシーを身に付け、情報の取捨選択が正しくできるよう家族として協力しながら見守る。</p> <p>・自己の健康増進と体力向上に向かう時間と場の確保と雰囲気づくりに協力する。</p> <p>・大人としての生活リズムの確立 (自分のことは自分で計画・実践)</p>
<p>い。」</p> <p>に化祭・祭り・清掃活動など</p> <p>の普及 の強化)</p>	<p>・地域の大人から心温かい挨拶をする。「おはよう。」「こんにちは。」「いってらっしゃい。」「おかえりなさい。」 ・地域の大人が積極的に子どもを褒める、認める、諭す。「すごいね。」「よくやったね。」「そのことはいけないことだよ。」「それは危ないよ。」「頼もしくなったね。」「地域行事の時に手伝ってくれて助かったよ。」「ありがとう。」</p> <p>・地域みんなで取り組む「ふるまい向上運動」・地域行事への参加要請および受け入れ体制づくり(運動会・文化祭・祭り・清掃活動など) ・地域の伝統芸能の伝承(神楽・太鼓など)・道徳の時間および総合的な学習の時間の講師としての協力 ・地域自主組織の活性化(社会教育CNとの連携による「地域の教育力」を生かす機会の提供) ・地域教育協議会の活性化(教育支援CNとの連携による中学校校区ごとめざす子ども像づくりと、協力体制の強化) ・「夢」発見ウィークの企業受入れ体制・スポーツ推進委員によるスポーツ活動の普及・青年期のスポーツ活動の推進(部活動への協力) ・不登校児童生徒対象体験プログラムへの協力</p> <p>・青少年のリーダー養成(幸童南塾および豊南市リーダー育成プロジェクト志塾豊南など)への協力</p>		

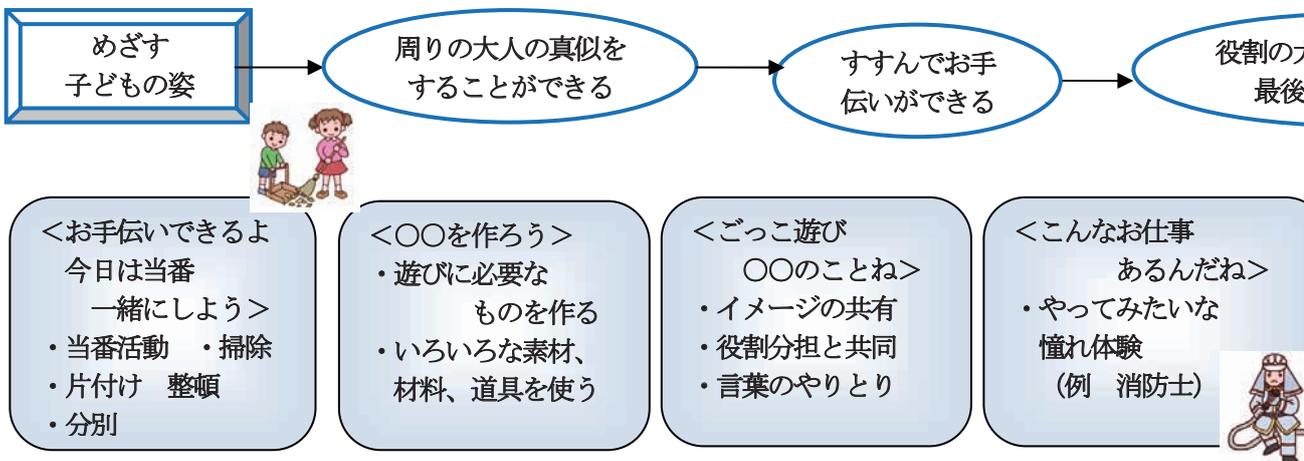
シート② <共通題材>

3歳児・4歳児・5歳児

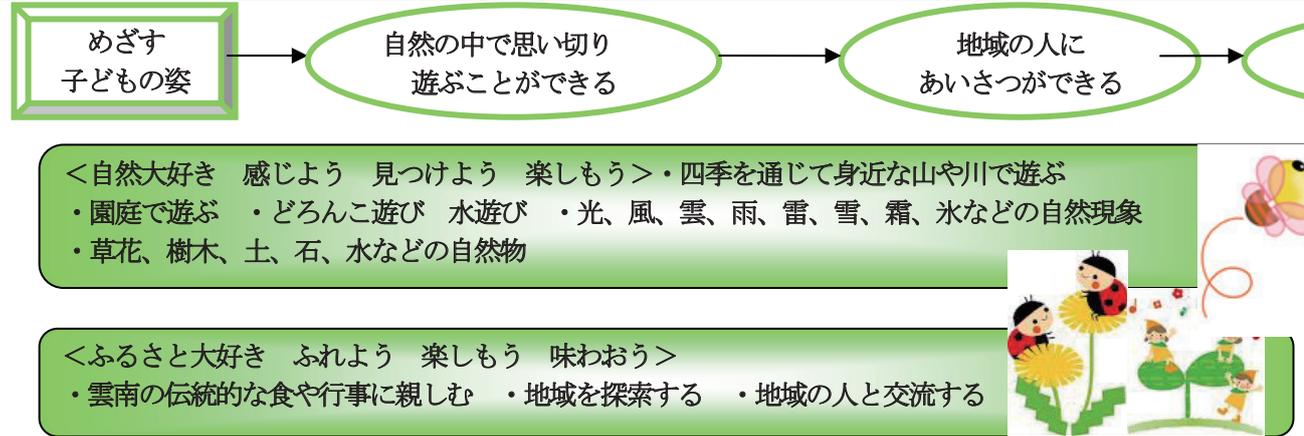
平和と人権



世の中のしくみと勤労

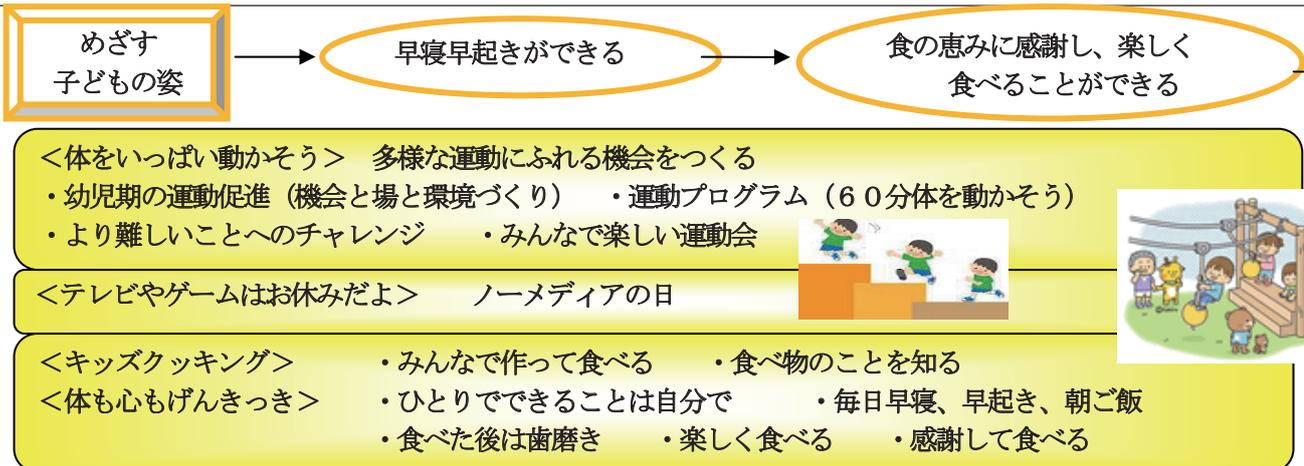


自然環境・歴史と文化

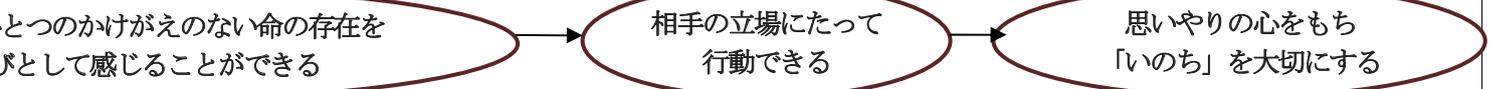


生活リズムと「食」

基礎体力



小 (低)	小 (中)	小 (高)	中 (1)	中 (2)	中 (3)
-------	-------	-------	-------	-------	-------



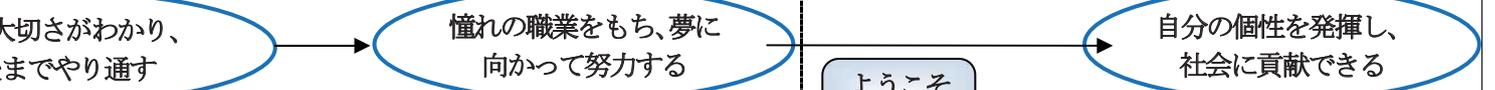
<雲南の偉人に学ぶ平和教育>
・永井隆 上代タノ 加藤敏一郎の生き様をとおして
平和作文コンクールへの挑戦 平和式典への参加

<平和教育> <人権教育>
平和作文・人権作文コンクールへの挑戦
少年の主張 (意見文作成・弁論への挑戦)

<人権教育・命の教育・性に関する教育>
・かけがえのない命
・2分の1成人式
<今の私・10年後の私>



<性に関する指導>・・・発達段階に応じた講話等



<ものづくり 収穫体験>
・つくる喜び、達成感

<社会で働く人から学ぶ>
・世の中のくらしを支える職業人から
生き方を学ぶ
・働く意欲 ・夢や希望

<福祉施設等での交流>
・保育士さんからの学び
(保育所訪問)
・介護士さんからの学び
(高齢者施設訪問)

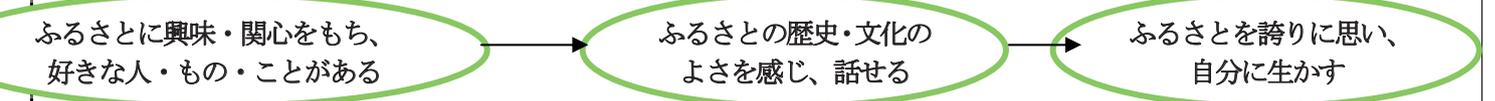
ようこそ
先輩

接遇
研修

体験的
福祉学習

<職場体験学習>
「夢」発見ウィーク
・雲南市全域を舞台に3日
間の事業所での体験
・自立と社会貢献意欲

<カタリバ体験活動>
・将来の夢



<ふるさとの自然に学ぶ> ・斐伊川、三刀屋川、久野川などの水系、伝説、川の生き物

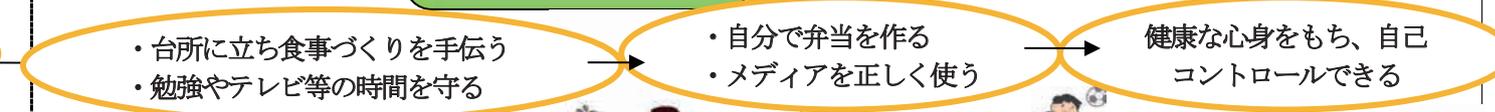
<私のまちの伝説や文化> ・地域の人からの学び
・地域の固有の歴史や伝説を探索し、地域に親しみをもつ

<ふるさとからの情報発信>
・郷土食のPR ・郷土の自慢のPR

<ヤマタノオロチ伝説>
・神話学習 ・紙芝居
・読み聞かせ ・劇

<ふるさとの食・行事>
・郷土食 ・地元野菜
・伝統的な行事献立

<神話の里スポットめぐり>
・雲南市の地域を訪ねる
・ふるさとのよさに気付く、味わう



<発達段階に応じた運動能力の促進>
・多様な動きを作る運動と遊び → 多様な動きをつくる運動 → 体力を高める運動
→ 一つの運動を選び継続的に運動競技力を伸ばす (運動部への所属) 運動する習慣づくりによる基礎体力の向上






<ノーメディアの日> ・家族のきずなを深めよう ・雲南家庭の日の活用 ・自立、家族のコミュニケーション

<お弁当の日> ・自分でお弁当を作ろう ・雲南家庭の日の活用 ・自立と感謝





「夢」発見プログラムの特徴



☆キャリア教育の理念に基づき、保幼小中の一貫した教育をめざす雲南市独自の教育プログラムです。

☆学校教育・社会教育・家庭教育の場で実践するプログラムであり、社会全体で協働して雲南市の子どもを育てることをめざしています。

☆乳幼児期から青年期までの「社会をたくましく生き抜く力」につながる「育てるべき力」を、発達段階に応じて身に付ける教育プログラムです。

☆小中学校では、各教科等と「総合的な学習の時間」や「生活科」などとの関連を図りながら、全教育活動の中で取り組みます。

☆保育所・幼稚園においても、それぞれの特色を生かしながら保育活動全般で取り組みます。

☆共通題材は、雲南市内の保幼小中において共通に取り組む題材の基本案であり、それぞれの保幼小中の独自性を生かして取り組みます。

☆共通題材は、雲南市の豊富な教育資源を活用した内容です。（雲南の人・もの・こととの出会いを大切にしています。）



<「夢」発見プログラム>では、乳幼児期から青年期にいたるまでの発達段階に応じた力(「意欲」「能力」「態度」)を身に付け、社会を力強く生き抜くための力(知・徳・体のバランスのとれた力)を育てていくことをめざしています。

「夢」発見プログラムの実践を通して雲南の子どもを育てる

「生きる力」

社会を力強く生き抜くために必要な総合的な力

「確かな学力」「豊かな人間性」「たくましい体」

キャリア教育で育成すべき基礎的・汎用的能力
小中で育てたい力

「学びの芽生え」

乳幼児期に育てたい9つの力

自分を豊かに
表現する力

自分の行動を
コントロールする力

自分のよさに気づき、
自信をもつ

命に感謝し、
喜んで食べる力

「人・自然・もの・こと」
とかかわろうとする力

友達とともに活動する
力(共感・共有・協同)

集団の一員とし
ての意識をもち、
生活を営む力

人とコミュニケーション
をとる力

いろいろな運動を
楽しむ力

このような力は、乳幼児期からの積み上げによって、徐々に発達段階に応じて定着していきます。だからこそ、保幼小中の一貫した教育が必要です。



「夢」発見プログラム ～雲南市キャリア教育推進プログラム～ **ダイジェスト改訂版**

編集・発行 雲南市教育委員会 〒699-1392 島根県雲南市木次町木次1013-1
発行年月 平成25年3月 TEL 0854-40-1072 FAX 0854-40-1029
e-mail gakkoukyouiku@city.unnan.shimane.jp